

2022 年度

事業計画及び収支予算(案)

一般財団法人旭川産業創造プラザ

# 2022 年度事業計画

## ◆基本方針

当財団は、「旭川ものづくり総合支援センター」の中核機関として、旭川市工芸センター、旭川市工業技術センター、旭川食品産業支援センター、北海道中小企業総合支援センターなどの構成機関、さらには北海道立総合研究機構や北海道科学技術総合振興センターなどと連携し、地域の企業のものづくりや生産性向上に向けた支援を行うほか、新たな産業の創出や地域経済の活性化に向けて取り組んでまいりました。

また、道北全域の産業支援機関として、稚内、留萌、名寄・士別、富良野の各圏域の行政や経済団体、金融機関と連携した「道北地域ものづくり応援ネットワーク」の取組で管内企業を支援するとともに、旭川、稚内、北星、留萌の各信用金庫と連携して組成した道北産業応援ファンドにより、起業や新分野進出事業に対する出資を行うことなど、創業、新分野進出環境の醸成を図ってまいりました。

国内経済の動向については、緩やかな回復基調を続けてきましたが、2020 年には世界的に流行した新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受け、今なお、その感染拡大防止のために社会経済活動の抑制を余儀なくされています。とりわけ、地方の中小企業を取り巻く経済環境は、人材不足や資機材調達コストの高止まり、為替や株価など金融市場の急激な変動のほか国際経済の不確実性などにより、今後も厳しい状況が想定されることから、次の3点を重点項目とし企業の業態・業種転換にも対応しながら、道北全域の支援体制を強化し総合的な支援に取り組んでまいります。

1. ものづくりや生産性向上、創業促進に向けた広域的な取組と支援体制の充実強化
2. 企業の新分野、新事業進出、機会創出の拡大やDX（デジタルトランスフォーメーション）リテラシー構築の推進
3. 販路開拓や拡大、新たな商品及びサービス提供の創出への支援の充実

## ◆実施事業

### I ものづくり支援事業

#### (1) 事業概要

- ア) **研究開発助成事業（実施事業）**： 道北地域において「ものづくりに意欲のある中小企業」等の新製品・新技術開発から販路拡大までを応援する助成事業として開発プ

ランを公募し、内容が優れ事業化の可能性が高いプランに対して資金を助成するとともに、大学・公設試とのコーディネートや専門家派遣などの各種支援を行います。また、道北地域の中核的な取組に対して事業費の一部を助成金として交付します。

助成総額：4,600千円

- イ) **道北ものづくり応援事業**： 稚内、留萌、名寄・士別、富良野の4圏域の関係機関（道、市、商工会議所、信用金庫）で構成する道北地域ものづくり応援ネットワークにより、地域連携会議の運営、情報交換を通じて、旭川市以外の道北地域の中小企業の振興を図ります。また、道北地域に本部がある金融機関と連携して設立したLLP（有限責任事業組合）道北産業応援ファンドの投資先である17社について、事業状況の把握と株価評価のためヒアリングを実施し、引き続き企業をサポートします。
- ウ) **販路拡大支援事業（旭川市受託事業）**： 道外見本市等に出展する中小企業に対し、商品の企画から開発、展示の仕方、見本市でのブース運営や商品の販売までの一連の取組について伴走的な支援を行うことで、地域内の企業の製品及び技術のPRと商談の促進を図り販路拡大を支援します。
- エ) **地域企業技術力向上事業（北海道補助事業）**： 地域の資源や技術の集積、ネットワークを生かしたものづくり企業の技術力及び生産性向上を図るため、北海道の「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」を活用し、公設試験研究機関や関係機関等と連携しながら製造業等へのIoT、ロボティクスをはじめとした先端技術等の導入・応用・人材育成などを行い、ものづくり企業を総合的に支援します。
- オ) **その他のものづくり支援に関わる業務**： ものづくりに関わる各種支援を行うとともに、公的な補助金等に応募する際に、最適な支援メニューの選択から申請書記載の支援、又事業完了時の手続きも含めて総合的に支援します。また、公的機関の表彰制度に支援企業が開発した技術や新製品などが対象となっている場合は、推薦や申請書記載の支援を行います。

## (2) 事業費

14,550千円(財源:旭川市委託料 2,700千円、補助金 5,455千円、一般財源 6,395千円)

## II 人材育成事業

### (1) 事業概要

- ア) **人材育成助成事業（実施事業）**： 自社の技術者等の研究機関への派遣研修や自社に講師を招聘する自主研修などを行う道北地域の中小企業等に対し、その経費の一

部を助成します。

- イ) **その他の人材育成に関わる業務**： 他機関等が行う人材育成に関わる事業の支援やサポートを行うことにより、道北地域の中小企業等の人材育成の促進を図ります。

(2) 事業費

410千円（財源：一般財源 410千円）

### Ⅲ 新産業創出支援事業

(1) 事業概要

- ア) **スタートアップ伴走支援事業（旭川市受託事業）**： 新規創業や新ビジネス創出を行うスタートアップ事業者の支援を行います。創業支援は、旭川市をはじめ道北6市3町が策定し国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援等事業として、旭川商工会議所や金融機関等と連携しながら創業相談をはじめ、あさひかわBizCafeを通年開催するなど起業家を育成するとともに、高校生や大学生を対象とした創業機運醸成に関わる取組などを行い、起業家予備軍の発掘を進めるなど創業希望者を総合的に支援します。また、旭川地域が優位性を持つ資源や技術・ノウハウなどを生かした事業者等に対し、AIやIoT、ロボット関連の新技术とデザインによる新ビジネスを創出するとともに、専門家を含めたビジネスプラン検討会議設置など伴走支援を行い、プロジェクト事業の促進を図るほか、最新技術の活用や現実的な課題を解決するためのセミナーの企画・運営等を行い、次代を担う人材の養成などを推進するなど、スタートアップ事業者の総合的な支援を行います。

- イ) **中小企業海外展開支援事業（その他受託事業）**： 旭川地域の中小企業が有する優れた技術や製品について、成長著しい東南アジア諸国に対して普及展開を図り、新たな産業の創出を支援します。

(2) 事業費

3,180千円（財源：旭川市委託料 2,800千円 その他委託料 380千円）

### Ⅳ 経営指導・企業育成事業

(1) 事業概要

- ア) **道北ビジネスプランコンテスト（道北ビジネスプランコンテスト開催協議会受託事業）**： 旭川市をはじめ道北6市3町が策定し国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援等事業として、創業又は新事業のビジネスプランを公募しコンテストを開催する。

- イ) **道北地域創業支援事業**： 特定創業支援等事業として、宗谷、留萌、名寄士別、富良野の各地域において、各自治体、商工会議所や金融機関等と連携しながら、どうほく BizCafe の開催等を行い、起業家を発掘、育成し、創業希望者を総合的に支援します。
- ロ) **その他の経営指導・企業育成に関わる業務**： 認定支援機関として経営や創業等に関わる各種計画の策定支援や、確認書及び意見書の発行支援、国等が行う専門家派遣事業や知的財産の相談対応、その他関係機関等が行う支援事業への参画または協力を行います。

(2) 事業費

9 4 7 千円（財源：その他委託料 6 9 4 千円、一般財源 2 5 3 千円）

## V 広報事業

(1) 事業概要

- ア) **成果発表会**： 当財団の支援実績や研究成果等を広く発信する機会として、旭川市産業振興課、旭川市工芸センター、旭川市工業技術センター、旭川食品産業支援センター及び（公財）北海道中小企業総合支援センターと共同で成果発表会を開催します。
- イ) **一般広報事業**： 当財団の知名度向上や取組を広く周知するため、FMりべ〜るやホームページ、メールマガジンを通じた広報活動を行うとともに、講演研修会への講師派遣や視察等の受け入れを積極的に行います。

(2) 事業費

6 7 0 千円（財源：一般財源 6 7 0 千円）

## VI 交流促進事業

(1) 事業概要

- ア) **旭川 ICT 協議会**： 地域の ICT 化を推進するため、「産・学・官」の垣根を越えた連携の場を設け、具体的な取組と事業化に向けた検討を行う中で、地元 ICT 業界の活性化と技術レベルの向上を図ります。
- イ) **その他の交流促進事業**： 他の支援機関と連携及び、地域内の企業間連携の促進し、情報交換やネットワーク構築などの取り組みを図ります。

(2) 事業費

4 6 千円（財源：一般財源 4 6 千円）

## Ⅶ 食クラスター推進事業

### (1) 事業概要

- ア) **地域食クラスター形成推進事業**： 地域の農業と食品事業者との連携による地場農産物等を活用した商品づくりや、技術的な助言等を通じた付加価値の高い食品の開発、販路拡大に向けた取組を引き続き支援する。また、社会的なニーズに対応していくため、健康に寄与する食品や高齢者向け商品の開発促進を図るなど、ブランディングの強化を図るとともに食クラスターの形成を一層推進する。
- イ) **旭川食品産業支援センター運営事業**： 食品加工に関する技術相談、商品開発を支援する試験分析、各種情報の発信を行うことにより、地場農産物等を活用した付加価値の高い市場競争力のある加工食品の開発を支援する。また、業界の課題やトレンドに対応したセミナーの開催等により、情報の共有化を図るほか、人材の育成に寄与する。(※同センターの事業計画及び事業予算は同総会で決定)
- ウ) **クラスタープロジェクトの展開支援事業**： 旭川地域における食クラスターの形成を推進するため、旭川食品加工協議会やご当地グルメの普及促進に取り組む団体等と協同し、コロナ禍に対応した新たな製品開発に向けたプロジェクトづくりや流通チェーンと連携した販路開拓・拡大に向けた取組を引き続き支援する。

### (2) 事業費

390千円（一般財源 390千円）

## Ⅷ 管理運営事業

### (1) コンプライアンスの遵守とガバナンスの向上

関係法令や定款等の定めを順守し、理事会及び評議員会を軸に、適切な組織運営と事業の執行を継続的に実施する。

### (2) 施設の維持・管理

竣工から25年を超え、経年劣化等による修繕や更新に大規模な費用の支出が想定されるところではあるが、コロナ禍を起源とする半導体不足や輸送コスト高騰による市場の混乱により、公正公平な取引が困難であることが想定されることから、再度中長期的な修繕計画を策定する。

# 2022年度 収支予算案（正味財産増減ベース）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	当初予算	前年度予算額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収入	[ 11,281]	[ 11,281]	[ 0]	
基本財産利息収入	11,281	11,281	0	
特定資産運用収入	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
特定資産運用収入	0	0	0	
事業収入	[ 80,394]	[ 84,194]	[ ▲ 3,800]	
ものづくり支援事業収入	2,700	2,700	0	
人材育成事業収入	0	1,400	▲ 1,400	
新産業創出支援事業収入	3,700	2,700	1,000	
経営指導・企業育成事業収入	694	694	0	
交流促進事業収入	0	3,400	▲ 3,400	
施設貸貸事業収入	73,300	73,300	0	
食クラスター推進事業収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
補助金等収入	[ 24,012]	[ 81,602]	[ ▲ 57,590]	
旭川市補助金	9,557	67,147	▲ 57,590	
北海道補助金	5,455	5,455	0	
指定正味財産からの振替額	9,000	9,000	0	
負担金収入	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
受取負担金	0	0	0	
雑収入	[ 3,882]	[ 3,882]	[ 0]	
受取利息収入	2,882	2,882	0	
雑収入	1,000	1,000	0	
経常収益計	119,569	180,959	▲ 61,390	
(2) 経常費用				
事業費支出	[ 68,636]	[ 129,729]	[ ▲ 61,093]	
給料手当支出	6,250	11,105	▲ 4,855	
報酬支出	0	0	0	
法定福利費支出	370	985	▲ 615	
福利厚生費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	3,306	3,856	▲ 550	
通信運搬費	151	653	▲ 502	
什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費	2,271	3,060	▲ 789	
修繕費支出	2,000	2,000	0	
印刷製本費支出	274	614	▲ 340	
燃料費支出	275	293	▲ 18	
光熱水料費支出	15,800	14,725	1,075	
使用料及び賃借料支出	4,380	5,415	▲ 1,035	
災害保険料支出	591	591	0	
諸謝金支出	1,274	1,991	▲ 717	
租税公課	8,944	8,946	▲ 2	
負担金支出	315	1,143	▲ 828	
減価償却費支出	9,000	9,000	0	
支払手数料支出	183	575	▲ 392	
委託費支出	7,135	7,413	▲ 278	
広告宣伝費支出	715	1,625	▲ 910	
交際費支出	402	739	▲ 337	
会議費支出	0	0	0	
助成金支出	5,000	55,000	▲ 50,000	
管理費支出	[ 54,264]	[ 52,615]	[ 1,649]	
役員報酬支出	4,080	4,080	0	
給料手当支出	21,500	20,550	950	
退職給付支出	0	0	0	
報酬支出	550	550	0	
法定福利費支出	9,980	9,900	80	
福利厚生費支出	800	800	0	
旅費交通費支出	950	900	50	
通信運搬費	400	400	0	
什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費	1,200	900	300	
修繕費支出	800	800	0	
印刷製本費支出	70	50	20	
燃料費支出	50	10	40	
光熱水料費支出	950	800	150	
使用料及び賃借料支出	2,003	2,003	0	
災害保険料支出	550	501	49	
諸謝金支出	510	510	0	
租税公課	3,420	3,420	0	
負担金支出	3,500	3,500	0	
減価償却費支出	900	900	0	
支払手数料支出	400	350	50	
委託費支出	1,601	1,601	0	
広告宣伝費支出	0	10	▲ 10	
交際費支出	0	30	▲ 30	
会議費支出	50	50	0	
経常費用計	122,900	182,344	▲ 59,444	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 3,331	▲ 1,385	▲ 1,946	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	▲ 700	▲ 700	0	
評価損益等計	▲ 700	▲ 700	0	
当期経常増減額	▲ 4,031	▲ 2,085	▲ 1,946	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取寄付金振替額	700	700	0	
経常外収益計	700	700	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	553	▲ 553	
経常外費用計	0	553	▲ 553	
当期経常外増減額	700	147	553	
当期一般正味財産増減額	▲ 3,331	▲ 1,938	▲ 1,393	
一般正味財産期首残高	174,680	176,618	▲ 1,938	
一般正味財産期末残高	171,349	174,680	▲ 3,331	

# 2022年度 収支予算案 (正味財産増減ベース)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当初予算	前年度予算額	増減	備 考
II 指定正味財産増減の部				
特定財産運用益	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
特定財産受取利息	0	0	0	
一般正味財産への振替額	[ 9,000]	[ 9,000]	[ 0]	
一般正味財産への振替額	9,000	9,000	0	
当期指定正味財産増減額	▲ 9,000	▲ 9,000	0	
指定正味財産期首残高	1,024,845	1,033,845	▲ 9,000	
指定正味財産期末残高	1,015,845	1,024,845	▲ 9,000	
III 正味財産期末残高				
当期正味財産増減額	▲ 12,331	▲ 10,938	▲ 1,393	
正味財産期首残高	1,199,525	1,210,463	▲ 10,938	
正味財産期末残高	1,187,194	1,199,525	▲ 12,331	